



第32回体育大会

(6月3日朝礼での話より)

五月の下旬から体育大会の練習が続いています。尼崎市には十九校の公立中学校がありますが、そのうち十五校が六月に体育大会を予定しています。昔、体育大会といえば秋の風物詩でした。爽やかに晴れ渡った秋空の下で行われるものでしたが、最近は六月の行事に定着しました。

放課後に制作しているクラス応援旗も徐々に完成に近づいており、大会を大いに盛り上げてくれそうです。

さて、体育大会の目的は何でしょうか？いくつかありますが第一番目は「体力の向上」です。次に「運動の楽しさを味わう」ことでしょう。さらに、クラスが団結して競技するなど「互いに協力する態度を養う」も大きな目的です。以前、皆さんに、「努力は足し算」「協力はかけ算」という話をしました。それがこの体育大会の中にギュッと濃縮され詰まっています。勝てばいいことはないでしょうが、たとえ勝てなくても見る人に感動を与えられるプレーを目指して下さい。

あっ、それから「協力はかけ算」での怖さについての話も覚えていますよね、「ゼロ」の存在です。クラスのほとんどが最善を尽くしているのに、ほんの数人の心ない行動や態度で演技そのものが不愉快なものになってしまうこともあります。ふざけた行動や不真面目な態度は見る人を嫌な気持ちにさせてしまいます。このような場面がもし起こりそうになったら、互いに注意し合ってほしいものです。

掃除の話

(6月17日朝礼での話より)

6月15日(土)に育友会主催の国道171号線地下通路の掃除がありました。午後の4時からだったのですが、ひどく雨が降っていました。こんな雨の中でも掃除をするのかなと半信半疑でうどん屋さんの前の地下道へ行ってみると、一人のお母さんがほうきで地下の階段を掃いておられました。早速挨拶して私も合流しました。一人だけかなと思っていると、小学校四年生ぐらいの男の子がハサミを使ってゴミを集めてくれています。嬉しく思いながら、三人であっという間に掃除を終えてしまいました。雨で着ている服は少々濡れましたが、爽やかな気分になりました。

また、地下道ではありませんが、毎朝、学校のまわりをバケツとハサミを持ってぐるっと一周し、ゴミ集めをしてきている生徒がいます。早朝から掃除してくれている姿を見ると爽やかな気分になります。こんな風に掃除をしてくれる人がいるから町が美しく保たれるのですね。私の家の近所の高校生が時々ゴミ拾いをしていています。自分の家の前に煙草の吸い殻やお菓子の包み紙が捨てられていると、腹立たしく感じていましたが、この様な生徒に会うと、嫌な気分がすぐに消え去ってしまいます。ゴミを捨てる人と拾う人、どちらも人間の行為なのですが、周りの人の受け止め方は180度違います。ゴミ拾いは誰でも出来ることですがやらない人はいつまでたってもやりません。

どうか皆さんは周りを爽やかにする人であって下さい。